



の が き
野垣あきことまちづくりカフェ

子ども・くらし・平和



2023年7月号

連絡先 090-9293-8710 ご相談もどうぞ!

ゆうゆう天沼館など3施設廃止議案 本会議で可決

6月19日、区議会本会議でゆうゆう天沼館、天沼・本天沼区民集会所の3施設を廃止し、コミュニティふらっと本天沼を設置するための議案が賛成28、反対19の賛成多数で可決しました。

区立施設利用者の会は昨年から区と懇談を続け、前区政時代の施設の玉突き移転を止めるために積極的提案もしてきました。廃止議案が出されることとなり、区民生活委員会で可決しないようにと委員に呼びかけ、委員会では否決すべきものとなっていました。

本会議での議決に向け、利用者の会は全会派に要請を行い、区役所前で宣伝行動にも取り組みました。一部の議員から「児童相談所の設置が遅れるのでは？」と疑問が出たため、①パピーナ保育園を旧若杉小に残置する案、②パピーナ保育園とゆうゆう天沼館を複合施設とする案などを各会派に丁寧に説明しました。

本会議では可決しましたが、賛否をめぐり複数の会派が討論を行ったのはこれまでになかったことです

岸本区政下での区立施設の統廃合はこれを最後に！

区は区民意見等を踏まえて計画の検証を行い、今後の方向性を決めるとして、「区立施設再編整備の検証に関する意見交換会」が区内7地域で開催されます。区立施設の統廃合を中止させるため、今後も区の動きや住民の声などをお知らせしています。



本天沼区民集会所

3施設の廃止議案に対する本会議での各会派の賛否 (○=賛成、×=反対)

会派	自無	共産	立憲	公明	無都	生ネ	維新	れ耕	安心	参政	革新	杉み	セン	緑グ	杉わ	共生	無
人数	10	6	6	6	4	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
賛否	○	×	×	○	○	○	○	×	○	×	×	○	×	×	×	○	○

西武線の連続立体交差化とまちづくりの関係は？



7月1日、杉並区が開催した「第3回下井草駅周辺まちづくりオープンハウス」を見学してきました。

区は昨年の12月から、道路・交通面の問題を中心に地域と意見交換するワークショップを3回開催。毎回、専門家の講義を聞いた後、グループに分かれて意見を出し合い、進行役が左のように模造紙にまとめています。ワークショップ参加者は公募と無作為抽出によるもの。1回目は32名、3回目は19名の参加です。継続参加で傍聴ができないため閉鎖的ではないかとの声もあります。

オープンハウスの展示から何が見えてきたか？

6月のワークショップでは、駅周辺のイメージ案が4件示され、意見交換が行われました。ワークショップ参加者からは、「思いつき案なのか、広く用地の買収が必要、南北を分断するような内容でダメですね」との声が寄せられていました。

オープンハウスでも、この4案についてどう思うか？というアンケートがありました。私は「鉄道連続立体化の構造形式が未定のため、今は4案について意見を言える段階ではない」と書きました。オープンハウス参加者からは「駅を地下化にして、地上をゆったりスペースにするのが下井草らしくていい。緑があり、駅周辺でほっとできるような広場的スペースがある下井草を」という感想も寄せられました。

今年度末には計画を策定？

区は「道路や交通施設の整備に関する計画」の策定に向けて右のスケジュールを提示しています。しかし、西武新宿線の野方～井荻間の連続立体交差化の構造形式が決定していないことや、住民意見をしっかり反映した計画が年度内にできるのかなど多くの疑問が残ります。

土地・建物利用及び住環境分野については、「まちづくりの骨格となる基盤整備の取組状況を踏まえ、住民意見を聞きながら順次検討を進める」としています。いずれにしても、下井草駅周辺のまちづくりと鉄道連立事業とは切っても切れない関係にあり、住民からは地下化を求める声が多数寄せられています。

東京都と杉並区、西武鉄道には地下化を求める住民意見を反映すること、ゼロカーボンに向けたまちづくりを計画的に進めることが求められています。

スケジュール

オープンハウス開催



地域への周知等



ワークショップ等開催(今回)



下井草駅周辺の道路・交通施設の整備に関する計画(案)



オープンハウス等開催・パブコメ(意見募集)



下井草駅周辺の道路・交通施設の整備に関する計画の策定(今年度末頃)

マイナカード大破綻 保険証廃止は中止・撤回を！

マイナ保険証で混乱が広がっています。マイナカードの普及ありきで自治体や健康保険・年金の諸団体にひも付け作業を急がせ、トラブルが多発している責任が厳しく問われます。政府は責任を認め、来年秋の保険証廃止をきっぱりと中止・撤回すべきです。



他人の情報ひも付けは「命にかかわる」

開業医の多くが加入する全国保険医団体連合会の調べでは、マイナ保険証に他人の情報がひも付けられていた事例も多数発見されています。他人の情報に基づいて医療行為や薬剤投与が行われれば、命に関わります。

窓口で10割負担のケースも

医療機関などの窓口で患者の保険資格を確認できず、「10割負担を請求した」ケースは同会の調査・推計で1,291件にのぼりました。

現行保険証の廃止後、カードを持たない被保険者に対しては「資格証明書」を発行して保険診療を受けられるようにする方針ですが、今の保険証を一定期間、有効とみなすことも検討中です。資格証明書を得るには本人の申請が必要で、有効期間は最長1年。更新の手続きも本人の申請が必要とされています。

国民の声に耳を傾け制度の見直しを！

厚生労働省のアンケート調査でも、マイナ保険証を利用した患者の56.5%が実感したメリットは「特になし」と回答しています。大混乱を引き起こし、さらに自治体や医療機関などに多大な負担を背負わせる健康保険証の廃止は中止するべきです。

国はマイナンバー制度とカードが混乱しているとして、カードの名称変更にも言及しました。日本共産党の小池晃書記局長は国会で記者会見し、「制度の破綻を自ら証明したようなものだ。混乱の原因は政府の方針であり、名前を変えても解決しない」と批判しました。

保険証廃止の中止を求め、マイナンバーカード取得の強制に反対する署名運動が広がっています。共産党としてもこの署名運動に全力で取り組んでいきます。署名用紙は党中央委員会のホームページからダウンロードするか、ご自宅にお届けすることも可能ですので、お気軽にご連絡ください。7月30日（日）には学習会も行います。



インボイス制度の実施延期を求める意見書採択

杉並区議会第2回定例会最終日の6月19日、国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期を求める意見書が賛成多数で採択されました。

23区で初の意見書採択 市民と野党の共闘の成果

インボイス制度の延期を求める意見書の採択は、東京23区では初めてのことで、全国では170件目（日本共産党小池晃事務所調べ）となります。区民から出された陳情が採択されたことを受け、議員提出議案として提案され、共産、立憲、少数会派が採択に賛成、自無、公明、無所属都民ファースト、維新が反対しました。

インボイス制度は中止を

現在、年収一千万円以下の小規模事業者は消費税の納入義務を免除されています。しかし、インボイス制度が導入されれば、実質的にこの免除がなくなり、大幅な増税となります。また、課税事業者であっても、シルバー人材センターのように、支払先の多くが免税事業者であり、その支払先がインボイスを登録しない場合、仕入税額控除ができず、多額の税負担が発生する恐れがあります。制度の導入に対しては幅広い人たちから反対の声があがっており、日本共産党は中止を求めています。

意見書は、こうした状況下で今年の10月からインボイス制度を導入すれば、廃業や地域経済の衰退に拍車をかけるとして、国に対して実施の延期を求めるものです。



しんぶん赤旗 配達員募集！

上荻・天沼地域でしんぶん赤旗日刊紙を配達していただける方を募集しています。興味のある方は野垣かお近くの党員までお声かけください。

- 自転車で30分程度
- 週1日～でもOK！
- 年齢・性別は不問
- 最初は丁寧にレクチャーします！

あきこの部屋



先日、大久保にある高麗博物館で特別展「関東大震災100年—隠蔽された朝鮮人大虐殺」を見てきました。2年前に見つかった朝鮮人虐殺を描いた絵巻、関東各地で朝鮮人虐殺が起きたこと、これらを記載した歴史教科書への圧力についても詳細な展示が、日本人として考えさせられました。展示は12月24日まで。みなさんもぜひ足を運んでみてください。